

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	荒木 浩一
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	(R1)	

施策	施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題				課題に対する主な取り組み					評価			
	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	(R1)	1 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	8,000				
							2 コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	56,000				
							3 教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	6,000				
	課題2 石川ならではの魅力の発信	首都圏からの入り込み客数	千人	7,000 (R7)	4,182 (H30)	(R1)	1 東日本誘客推進事業費	首都圏観光客	34,500				
							3大都市圏からの入り込み客数	千人	13,000 (R7)	8,919 (H30)	(R1)	1 西日本誘客推進事業費	関西・中京圏観光客
		2 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	首都圏・関西圏観光客	6,000									
		3 戦略的インターネット活用誘客推進事業費	三大都市圏観光客	11,000									
		観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	(R1)	再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	8,000			
							再掲	東日本誘客推進事業費	観光客全般	34,500			
	2						プロスポーツチーム連携誘客推進事業費	観光客全般	4,000				
3	誘客プロモーション事業費	観光客全般	15,000										
課題3 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	(R1)	1 JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500					

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主任主事 北本 聡			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943			

<事業の背景及び目的>
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>**
- 1 貸付額 8,000千円
 - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

【参考】ほっと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
 ○国内誘客に向けたプロモーション活動
 (1) 観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 (2) 大手企業等での出前型観光物産展の開催
 (3) 石川県観光ブランドプロデューサー活動費 など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	

事業費					
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	51,000	10,000	6,500	8,000
	決算	51,000	10,000	6,500	
一般財源	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
事業費累計	0	51,000	61,000	67,500	75,500

評価		左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>		
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	コンベンション誘致推進事業費		事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
			根拠法令	ほっと石川観光プラン2016		
			計画等			

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主事 池田 章紘			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3945			

＜事業の背景及び目的＞
県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進する。

＜事業の概要＞

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外	
支給条件	人数	県外参加者100人以上
	規模	北陸地域(石川県、富山県及び福井県)を超える規模のもの
	会期	連続する2日以上であること ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む
その他	以下に該当するコンベンションは、補助対象外。 ①宗教活動、政治活動を目的とするもの。 ②営利を目的とするもの。 ③公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるもの。 ④国又は地方公共団体が主催、或いは運営に關与するもの。 ⑤国又は地方公共団体から補助金等の交付を受けるもの。ただし、県内の自治体がこの要綱と同様の趣旨で交付する補助金を除く。 ⑥開催順序が予め定められている持ち回りのもの。 ⑦本県で連続開催されるもの。 ⑧その他補助金の交付が適当でないと思われるもの。	
	国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。
補助金額	①基本補助(下記別表参照) ②バス補助: バス借上げ費用の1/3(上限100万円) ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③加賀能登宿泊追加補助: 1,000円/人(上限50万円) ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。 ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。	

県外参加人数(人)			国内			国際			
100 ~	199	8	100	2,100 ~	2,199	168	4,100 ~	4,199	328
200 ~	299	16	140	2,200 ~	2,299	176	4,200 ~	4,299	336
300 ~	399	24	180	2,300 ~	2,399	184	4,300 ~	4,399	344
400 ~	499	32	220	2,400 ~	2,499	192	4,400 ~	4,499	352
500 ~	599	40	260	2,500 ~	2,599	200	4,500 ~	4,599	360
600 ~	699	48	300	2,600 ~	2,699	208	4,600 ~	4,699	368
700 ~	799	56	340	2,700 ~	2,799	216	4,700 ~	4,799	376
800 ~	899	64	380	2,800 ~	2,899	224	4,800 ~	4,899	384
900 ~	999	72	420	2,900 ~	2,999	232	4,900 ~	4,999	392
1,000 ~	1,099	80	460	3,000 ~	3,099	240	5,000 ~		400
1,100 ~	1,199	88	500	3,100 ~	3,199	248	(上限)		
1,200 ~	1,299	96	540	3,200 ~	3,299	256	※収支が一致する額が交付上限		
1,300 ~	1,399	104	580	3,300 ~	3,399	264			
1,400 ~	1,499	112	620	3,400 ~	3,499	272			
1,500 ~	1,599	120	660	3,500 ~	3,599	280			
1,600 ~	1,699	128	700	3,600 ~	3,699	288			
1,700 ~	1,799	136	(上限)	3,700 ~	3,799	296			
1,800 ~	1,899	144		3,800 ~	3,899	304			
1,900 ~	1,999	152		3,900 ~	3,999	312			
2,000 ~	2,099	160		4,000 ~	4,099	320			

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
30,000	25,018	24,588	24,753	24,915		

事業費					
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費 予算			45,644	48,415	56,000
事業費 決算			44,833	48,255	
一般 予算			45,644	48,415	56,000
財源 決算			44,833	48,255	
事業費累計	0	0	44,833	93,088	149,088

評価		左記の評価の理由
項目	評価	
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 教育旅行誘致推進事業費	事業開始年度	H15	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組 織	誘客戦略課
	職・氏名	専門員 松林 憲吾
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943

<事業の背景及び目的>

将来の石川ファン拡大、平日の宿泊施設・観光施設の利用増につながる取組みとして、教育旅行の誘致を図ってきており、近年、北陸新幹線の金沢開業及び東日本誘客推進室による積極的な学校訪問により、近年、首都圏を中心に本県を訪れる教育旅行が増加している中、新幹線の県内全線開業も見据え、さらなる教育旅行の受入れ増に向け、受入体制(宿泊施設・教育プログラム)の充実を図る。

<事業の概要>

- (1) 誘致活動
 - ・三大都市圏の学校、旅行会社の訪問
 - ・現地視察会の開催
 - ・教育旅行誘致資料の作成
 - ・北陸三県で連携した誘致活動の実施(北陸三県修学旅行フェアの開催等)
- (2) 受入体制の強化
 - ① 宿泊施設の充実
 - ・宿泊施設の研修会の開催
 - ② 教育プログラムの充実
 - ・首都圏大手旅行会社教育旅行担当者による現地視察の実施
- (3) 修学旅行誘致戦略マネージャーの配置
 - 北陸新幹線を利用する修学旅行の誘致強化に向け、修学旅行に関する専門的な知識や経験を有し、旅行会社や学校等との人的ネットワークを持つ旅行会社OBを東日本誘客推進室に配置

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	

事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算	2,000	2,000	4,000	7,000	6,000
	決算	2,000	2,000	4,000	7,000	
一般	予算	2,000	2,000	2,000	3,500	3,000
財源	決算	2,000	2,000	2,000	3,500	
事業費累計	13,800	15,800	19,800	26,800	32,800	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>		
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 東日本誘客推進事業費	事業開始年度 H22	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作	組	織	誘客戦略課
成	職・氏名	専門員 竹中 康将	
者	電話番号	076 - 225 - 1543 内線 3947	

<事業の背景及び目的>
 新幹線開業効果を最大限に引き出し、更なる上積みを図るため、JRと北陸三県連携による通年の誘客キャンペーンや北陸新幹線開業5周年キャンペーンに合わせた大手私鉄グループや大手旅行会社との連携強化、旅行意欲が高い若い女性層やシニア層などターゲットを絞った誘客に取り組み、潜在需要の更なる掘り起しとピーターの獲得につなげる。
 また、新幹線開業により増加する東北地方からの入り込み需要の更なる取り込みのため、JRと北陸三県が連携した通年キャンペーンに合わせて、東北地方においても四季を通じた誘客の促進を図る。

- <事業の概要>**
【首都圏】
 (1) 大手私鉄グループ旅行会社等とのタイアップによる誘客推進
 ・旅行会社店頭での販促キャンペーン、グループ施設での観光PRイベント、電車内広告など(東武鉄道(東武トップツアーズ)・東京急行電鉄(東急トラベルサロン))
 ・東京メトロ車両ドア上モニターでの観光PR映像の放映
 (2) 女性をターゲットとした誘客の推進
 ・食(発酵食、スイーツ等)、温泉、美容など、本県ならではの女性向け観光素材を活用した旅行商品の造成
 ・女性向け情報誌等を活用した情報発信
 (3) アクティブシニアをターゲットとした誘客の推進
 ・JR東日本グループや大手旅行会社と連携したシニア向けの旅行商品の造成や会員誌での情報発信
 (4) 「ふるさと祭り東京2020」への出展
 ・東京ドームにて開催される「食」と「祭り」をメインとしたイベント(R2年1月)での観光PR
 食をメインとしたブース出展、祭りの披露 など
 (5) 長野からの誘客の強化
 ・長野県内の大手旅行会社店舗での販促キャンペーン
 ・長野駅での石川観光PRイベント
- 【東北地方】**
 (6) JR東日本グループとのタイアップによる誘客促進
 ・旅行会社店頭での販促キャンペーン、電車内広告 など
 (7) 福島県からの誘客強化
 ・地元情報雑誌における特集記事掲載
 (8) 直通新幹線の運行継続に向けた取り組みの実施
 ・直通新幹線到着時のお出迎え、日本郵便と連携した石川県及び宮城県的主要郵便局における直通新幹線を活用した旅行商品の販売促進 など

施策・課題の状況					
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価
課題	石川ならではの魅力の発信				
指標	首都圏からの入り込み客数			単位	千人
目標値	現状値				
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
7,000	4,542	4,269	4,135	4,182	

事業費					
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	28,300	21,300	34,185	37,377	34,500
予 算	28,300	21,300	34,066	37,315	34,500
決 算	28,300	21,300	34,066	37,315	34,500
一般	18,300	1,500	26,243	18,689	17,250
予 算	18,300	1,500	26,243	18,689	17,250
決 算	18,300	1,500	26,181	18,658	17,250
事業費累計	101,250	122,550	156,616	193,931	228,431

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	西日本誘客推進事業費	事業開始年度	H26	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作組	織	誘客戦略課
職氏名	専門員	佐々木 英雄
者電話番号	076 - 225 - 1544	内線 3950

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線開業4年目(平成30年)も、関西・中京圏からの観光入り込み客数は開業前を上回っているものの、2022年(令和4年)度末の県内全線開業も見据えて、更なる上積みを図る必要がある。
 また、関西・中京圏は首都圏と比べ距離が近く利便性が高いため、職場旅行などの団体旅行やマイカーを利用する旅行者の割合が高いことから、大手旅行会社と連携し、加賀・能登を中心に団体旅行の誘致強化を図るとともに、マイカー利用者に対する誘客の強化を図る。

- <事業の概要>**
- (1) 大手旅行会社と連携した誘客促進
- ① 個人旅行の誘客強化
- ・JR西日本グループ(日本旅行)と連携した誘客推進
 - 旅行商品造成・販売、主要店舗にパンフレットコーナー設置
 - 日本旅行旗艦店に「石川デスク」を設置(年2回、各1週間)
 - 郊外型ショッピングセンター(関西エリア)における販促イベント
 - ・大手私鉄グループと連携した誘客促進
 - (連携先: 阪急電鉄、名古屋鉄道、京阪電鉄、阪神電鉄、近畿日本鉄道)
 - 車内中吊り・主要駅構内広告掲載
 - 主要店舗における店頭販促、新たな旅行商品造成(阪急交通社、名鉄観光サービス、近畿日本ツーリスト)
- ② 職場旅行等の団体旅行の誘客強化
- ・大手旅行会社連携事業(連携先: JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、名鉄観光サービス)
 - 団体旅行商品の造成(専用特典の提供)、団体旅行セールスマン招聘など
 - 旅行マインドが高まる「周年企業」に対し、旅行会社と連携し、記念旅行を誘致
- (2) マイカー利用者をターゲットとした情報発信
- ・東海北陸道沿線連携事業(連携先: 岐阜県、富山県、NEXCO中日本など)
 - 東海北陸道SAや、郊外大型ショッピングセンター(中京エリア)におけるPR、名古屋市内イベントへの出展、旅行会社などへのPR等
 - ・大手自動車販売会社連携事業
 - 販売店店頭へのパンフレット配架、顧客向けイベントなど
 - ・NEXCO・JAFとの連携による誘客の強化
 - ETC割引&宿泊セット商品を造成し、JAF会員向けに販促
- (3) イベントを活用した情報発信
- ・日本最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパンin大阪」への出展
 - ・百貨店等における観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - ・石川香川観光パートナーシップ協定に基づく合同PRイベント(大阪駅)の実施

施策・課題の状況					
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価
課題	石川ならではの魅力の発信				
指標	3大都市圏からの入り込み客数			単位	千人
目標値	現状値				
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
13,000	9,259	9,011	8,877	8,919	

事業費					
(単位: 千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	8,000	10,500	21,000	20,500
	決算	7,646	10,500	21,000	20,500
一般	予算	0	0	10,500	10,250
財源	決算	0	0	10,500	10,250
事業費累計		10,646	21,146	42,146	62,646
			90,146		

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	事業開始年度 R1	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作成者	組織	誘客戦略課
	職・氏名	専門員 竹中 康将
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
北陸新幹線金沢開業を機に高まった本県への旅行ニーズに対応するため、大手旅行会社と連携し、首都圏・関西圏の主要店舗の窓口に、本県への旅の魅力を紹介する担当者を「いしかわ観光コンシェルジュ」として配置し、店舗における本県観光情報の恒常的な発信強化と本県への誘客拡大に取り組む。

- <事業の概要>
- (1) 事業内容
- ・本県観光の積極的な情報発信と、旅行商品販売等による積極的な送客
 - ・石川デスク(観光情報コーナー)の設置による通年PR及び、定期的な店頭PRイベントの実施
 - ・コンシェルジュを**対象とした**本県視察研修の実施
 - ・コンシェルジュによる社内研修の開催(他の販売員への水平展開)
 - ・定期的な実績報告と、トレンドを踏まえた本県施策への提言
- (2) 実施店舗
- ・首都圏7店舗、関西圏4店舗
- (3) 配置人数
- ・各店舗1人 計11人

施策・課題の状況					
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価
課題	石川ならではの魅力の発信				
指標	3大都市圏からの入り込み客数			単位	千人
目標値	現状値				
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
13,000	9,259	9,011	8,877	8,919	

事業費					
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算				6,000
	決算				
一般	予算				3,000
財源	決算				
事業費累計	0	0	0	0	6,000

評価	
項目	評価
	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	戦略的インターネット活用誘客推進事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度		作組織	誘客戦略課	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016				成職・氏名	専門員 松林 憲吾
						者電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943	

<事業の背景及び目的>
 近年、旅行の目的地を決める際、インターネットを参考にする旅行者が増えており(H29:57.5%)、その手配についても、主にインターネットで個人手配する傾向が全国的に強まっていることから、ターゲットエリアを平成30年度に実施した首都圏から三大都市圏に拡大するとともに、各エリアに強みを持つ旅行会社の予約サイトと連携したプロモーションを行う。
 さらに、本プロモーションで連携する旅行会社のSNS会員等に向け、石川の旬の情報を発信することにより、旅行への関心が高い層から誘客を図る。

- <事業の概要>**
- (1) インターネット広告等を活用した誘客プロモーション
- ・検索サイト(Google)、SNS(インスタグラム)での広告掲載
 - ・本県の旬の観光情報を伝え、旅行の予約に繋がるキャンペーンサイトの制作・掲出
 - ・興味・関心を持った方が、そのまま交通・宿泊の申込みができるよう大手ネット専門の予約サイト、大手旅行会社のウェブサイトへリンク
- (2) 旅行会社のSNS等を活用した誘客プロモーション
- ・旅行会社のSNS等から本県の旬の観光情報を発信
 - ・旅行会社とタイアップした誘客促進キャンペーンの実施

これまでの見直し状況
 H30: 東日本誘客促進事業においてインターネット広告を活用した観光PRを実施
 R1: ターゲットエリアを首都圏から三大都市圏に拡大、
 大手旅行予約サイト連携誘客促進事業を統合し、連携する大手旅行予約サイトを楽天トラベルを含む7社に拡大

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数			単位	千人	
目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	13,000	9,259	9,011	8,877	8,919	

事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算				12,000	11,000
	決算				12,000	
一般財源	予算				6,000	5,500
	決算				6,000	
事業費累計		0	0	0	12,000	23,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>		
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	プロスポーツチーム連携誘客推進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主事 池田 章紘			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3945			

<事業の背景及び目的>
 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催控え、スポーツへの関心が高まる中、本県において地域密着型のチームづくりを目指して活動している県内のプロスポーツ3チームと連携し、三大都市圏等において観光PRを実施する。

<事業の概要>
 (1) 事業内容
 ・三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、県内のプロスポーツ3チームが行う観光PRへの支援を実施

(2) 連携先(県内プロスポーツ3チーム)
 ・ツエーゲン金沢(サッカー)
 ・石川ミリオンスターズ(野球)
 ・金沢武士団(バスケットボール)

(3) PR方法
 ・石川の観光地やチームを応援する内容を記載した横断幕の掲出
 ・観光PRブースの設置(チームスタッフによる観光パンフレットの配布等) など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていたよう石川ファンを拡大				評価	
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
30,000	25,018	24,588	24,753	24,915		
事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算		4,080	4,000	4,000	
	決算		4,079	3,983		
一般財源	予算		2,040	2,000	2,000	
	決算		2,040	1,992		
事業費累計	0	0	4,079	8,062	12,062	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 誘客プロモーション事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		
作成者				組織 誘客戦略課 職・氏名 主事 池田 章紘 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3945

<事業の背景及び目的>
 石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、三大都市圏等の重点エリアにおいて積極的にプロモーション活動を行い、本県への誘客を図る。

- <事業の概要>
- (1) 観光PRイベント等への出演
 - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施
 - (2) ホームページを活用した情報発信
 - ・「ひやくまんさん」公式ホームページの維持管理
 - (3) ノベルティグッズによるPR
 - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用
 - (4) 維持管理
 - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	
事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費 予算			15,000	15,000	15,000	
事業費 決算			15,000	15,000		
一般 予算			15,000	15,000	15,000	
財源 決算			15,000	15,000		
事業費累計	0	0	15,000	30,000	45,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		
作成者				組織 誘客戦略課
職・氏名				主任主事 濱口 紀一郎
電話番号				076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線の開業効果の持続・発展を図っていくため、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
- (1) キャンペーン全体スケジュール
 平成31年 4月～令和元年11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン
 令和元年12月～令和2年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン
- (2) 事業内容
- ① 情報発信の強化
- ・イベントにおける出向宣伝
 - ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
 - ・北陸3県イラストマップの作成
- ② 旅行会社施策の強化
- ・大手旅行会社のプロジェクトチームによる商品開発
 - ・旅行会社店頭説明用の観光素材資料集の作成
 - ・旅行会社店頭社員現地研修の実施
 - ・旅行会社店頭販促キャンペーンの実施

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
30,000	25,018	24,588	24,753	24,915		
事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算		11,500	11,500	11,500	
	決算		11,500	11,500		
一般財源	予算		5,750	5,750	5,750	
	決算		5,750	5,750		
事業費累計	0	0	11,500	23,000	34,500	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						